



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.673

18. 12. 19

嶋本先生の声楽レッスン

(第3回)熱血指導!

12月16日

千秋&昴ジョイントコンサート
チケット販売状況
(12月16日現在)

522枚 (販売枚数)

うち 入金枚数 467枚
残席数 1f 208席
2f 91席



拍子の取り方でのアドバイスをいただきました。名でした。

□ 12月16(日)14:00~17:00 昴定例レッスン・嶋本晃声楽教室が開催されました。佃さんの体操と吉岡さんの滑舌訓練に始まり、嶋本先生の第3回目の声楽レッスンは、まず滑舌訓練の大切さ、そして「あー」の母音発声での声の出し方、「欠伸の形にのどを開け、力を抜いて声を出す、舌の置き場所・下に置いて空間を確保する・・」と具体的な指摘が続きました。本並先生の指揮で、「春を待つ」を、休憩をはさんで、「浜辺の歌」と「君死にたまふことなれ」をレッスンしました。それぞれの合唱に対して、発声・表現・調の出し方・ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全36名でした。

□ 「浜辺の歌」では、「きょうの課題」として、まず6/8に乗ること。「123・123」と。全体のテンポ辻褄合っているが、まだ遅い!16分音符の言葉が見えないと、子音の言葉云々はまだ(第2の課題)。指揮者の指揮をよく見て、指揮に乗って歌うこと!

□ 「君死にたまふことなれ」でのアドバイス。

・かなりの完成度高いところまでいっているのでは。

・ソリストと合唱との温度差がややある。テーマ性のある歌は、歌い手に、その「テーマを伝える覚悟」があるか。ふわふわした感じを聴く人に与えては駄目で、ソロと同じ思いで、テンションで、声を出して欲しい。「さかいのまちのあきびとのー」に典型的。まだ軽すぎる!弾んでふわふわした声とリズムでは駄目!ことばを塗りつぶす意気込みで。“べたー”と歌う。「さ」「ま」「あ」しっかりと凜とした声で!もっと重々しく!

・23小節「あるじにてー」:BR・BSしっかりした声と音で。「あるじ」は大きく、「にてー」で小さくなる。小さくなるのをコントロールして、気持ちは薄れず維持する。声に反映させて!



□ 「春を待つ」 レッスンメモ（嶋本先生のアドバイス）

男声合唱組曲

雪もりの路 詩：伊藤 整 作曲：多田武彦

一、春を待つ

ふんはりと 雪の積った山かけから
冬空が きれいにきれいに晴れ渡ってゐる。

まず、この曲の詞を読み上げてみて、心にその情景をイメージしてみよう。

- ・ 「ふんわりと」：m p を意識してレガートで（音と音の間すき間なく、なめらかに続けて）、モリモリしそぎ・やや強すぎる。「ふん」と「わりと」分けない。「ふんわりと」の表現。
- ・ 「ゆきのつもったやまかけからー」：
「ー」：T1/T2 下へ下がる音が長く続く。上にもっていく気持ちで音程下がらないように維持して。小さい声になってもいい声で、特に小さい声のときは、力抜けると声のクオリティが下がる。音を小さく維持するときは特に気持ちを強く持って、意識をしっかり持って歌ってほしい。
- ・ 「きれいにきれいに」：「き」 クレッシェンド、T 1：しっかりと音程上がること。
- ・ 「はれわたっているー」：poco rit.e dim 「る」でa tempo。「る」は「い」と同じ音量で、強く言わない。本当にきれいにきれいに歌ってほしい。

うっすら寒く

日は暖い。

日向ぼっこする まつ毛の先に

ぽつと 春の日の夢が咲く

14小節～22小節 m f でしっかり表現する！

- ・ 「うっすら」の言葉が聞こえない。T2 「ひはあたたかい」：聞かせどころ。明るい声を出して欲しい。暖かい感じを声に出して欲しい！発信力ゼロ？「ひなたぼっこする」のだよ！「まつげのさきに」も「ひはあたたかい」と同じ音量で、m f で、しっかりと出して欲しい。元気な声を出して！
特にバスは低い音だから出しにくいが、元気な低音の声が欲しい。しっかりと出して、声を合わせて！
- ・ 「はるのひの」：「はる」もっとやさしく！自然な声で「は」を！微妙なニュアンス作るような「は」で。
- ・ 「ゆめがさくー」：4パートとも音程は大変難しいところ。正しくとて。
「くー」：しっかりと4拍+4拍しっかり延ばしてT 1・T 2・B S 音下げずに維持する。
尻切れトンボではバリトンのあの4拍とのハーモニーが生きない。
B R：「くーうー」：音程が変わる「うー」4拍意識して出して欲しい。B Rだけが下がる。
広がった「うー」が欲しい。正しい音程「ドーザー」。

しみじみと 日の暖かさは身にしむけれど

ま白い雪の山越えて

春の来るのは まだ遠い。

- ・ 「しみじみと」「日の暖かさは」：子供に読み聞かせするときに、ことばの頭にニュアンスをこめて読むとよく聞こえる。「しみじみと」の「し」、「ひのあたたかさ」の「ひ」の前を少し間をあけて子音をのせて、「し」「ひ」を出す。

- ・「みにしむけれどー」：「れどー」下がる。だらしなく聞こえる。音をきれいに、常にかっこよく歌ってほしい。隅々までクオリティを！音階下がるときは、力が抜けると身体も心も連動して抜ける。凛として！心を維持して！和音を大事に！
- ・「まだとおーいー」：最後まで「とおーいー」心を入れて。（ピアノが鳴り終わるまで終わっていない！）

□連絡・報告事項

(1)「千秋&昴ジョイントコンサート」の成功を！そのために「12月中にチケットの80%を売り切ろう！」(立川事務局長と山本副団長(チケット販売担当長)より)

12月の現時点で522枚の販売状況。821席中 残席数1F:208席・2F:91席がまだ売れていません。0枚の報告は困る。1人15枚を目標に会場を満席にして元気に歌いたい。年賀状を出す時期。声掛けをしてください！

パートマネージャーさんへ：各メンバーの方々の売れ具合・残り具合を把握いただき、山本までメール等で連絡してください。12月中にはメドをつけたいです。頑張って下さい！

いくつかのチケットが戻ってきました。座席番号をお知らせします。どんどん売ってください。1階席(26枚) J 29~33: 5枚 K 1,2, 28~31, 33, 34: 8枚
0 1~5: 5枚 P 32~34: 3枚 S 1~5: 5枚
2階席 (60枚)

(2)「昴第1回うたごえ喫茶(うたう会)」

1月30日(水)14:00~17:00 ねむかホール

昴の2曲：「朝露」「橋を作ったのはこの俺だ」と千秋ソロ2曲「私は歌う」「方正は戦の物語」の演奏あり。チラシ出来上がりました。配っていただいてお客様にお知らせください。当日までの準備等にもご協力ください。



(昴ニュース編集子より)

○山本宏司さんより「健康手帳⑤」が届いています。体の免疫力をいかにかけるか？その方策を身体の原理も詳しく説明しています(4頁)。次号ニュースに掲載します。乞うご期待！

○1月18日~20日の東京祭典の日程と昴関連の連絡事項は次号にて掲載いたします。